

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人 全国LD親の会

1 事業の成果

研究活動としては、2024年10月19日（土）～20日（日）の日本LD学会第33回大会に参加し、10月20日（日）神戸国際会議場第3会場にて、親の会企画シンポジウム「子どもと家族を真ん中にした支援を考える～縦と横につなぐ関係作りのために～」を行いました。子育て世帯に対する包括的な支援体制の中で、発達障害児とその家族に対してもニーズに合った支援が乳幼児期から切れ目なく提供されるためには、地域の大きさによって、連携の範囲、各連携機関の情報共有方法も異なってきます。ますます各地域での取り組みが求められる中にあって、face to face の関係で一人の子どもとその家庭に対して支援の連携を作っていく実践について話し合うことができました。日本LD学会大会会場の神戸国際展示場2F 展示室Aでは、各地域の親の会のポスター展示をおこない、13会が参加しました。ポスター展示会場のブースでは、各会が作成した活動映像をPV放映して、多くの来場者に見ていただきました。

また、2023年度に調査した「保護者から見たGIGAスクール～1人1台端末等の活用状況調査～」の集計・分析を報告書としてまとめました。子どもが小学生・中学生・高校生の会員140名からの回答があり（回収率24.8%）、内訳は小学生69名、中学生43名、高校生28名でした。1人1台端末の整備状況や利活用等については、文部科学省が各自治体に対して調査を行っていますが、家庭からの視点として、保護者に対する端末使用状況調査の結果をまとめることができました。教育から就業への移行実態調査については前回IVの調査2017年より8年が経過していることから、「教育から就業への移行実態調査」を18歳（高卒相当）以上の本人及びその親を対象に、質問用紙だけでなくオンラインアンケートフォームを作成して実施しました。

理解啓発事業では、北海道立道民活動センター（かでる2.7）にて、第23回公開フォーラム「成年期以降の課題 生涯にわたっての支援をつなぐ」を、会場開催・リアル配信・オンライン配信で開催しました。2024年6月16日当日は、会場92名・オンライン324名程度の方の参加がありました。特別支援教育支援員養成ビデオ配信講座も8月から11月にかけて開催し、会員21名・会員外66名・補講1名の合計88名が受講しました。2024年度も10月のディスレクシア月間企画「ディスレクシアだから大丈夫！ GO RED FOR DYSLEXIA」に参加し、全国LD親の会の活動として、各地域の図書館・学校図書館での読書バリアフリー法による書籍充実を目指して、地域各会から各教育委員会等への要望書提出を依頼しました。また、HPやブログ・SNSにより活動周知に取り組み、会報かけはし98号・99号の発行をおこないました。他団体からの講演依頼、原稿依頼などにも積極的に応じ、LD等の発達障害についての理解・啓発の進展に努めました。

家族等の支援事業では、オンラインの利点を生かして、会員向けの勉強会や会員交流会をおこないました。6月15日総会後の会員研修会は、2024年1月1日に能登半島地震が発生したこともあり、「災害への備え」というテーマで、富山の状況報告と「緊急時に備える！ICTを有効に活用するために」について学び、災害に備えておく重要性について話し合いました。会員行政勉強会は4回開催し、文部科学省と厚生労働省、子ども家庭庁の施策について、講師への質問を交えながら学ぶことができました。また、

学齢期の本人と保護者対象の学習会「多様な学びを探しに行こう(GIGA 端末活用講座)」を 3 回(第 1 回: OneNote 活用体験・第 2 回: 読みの支援の基礎編・第 3 回: 書きの支援)開催し、音声教材勉強会も 3 回(第 1 回: 保護者対象・第 2 回: 本人対象・第 3 回: 音声教材 BEAM と BEAM 音声を活用したテストの合理的配慮)開催しました。全国青年交流会は 9 月に「オンラインで北海道・小樽へ」をおこない、12 月と 3 月にもオンラインでの青年交流会を開催しました。各会員交流会も隔月で開催し、それぞれの会が抱えている課題等について話し合い、各ブロックでもブロック会議だけでなく講演会などを開催したりして、家族が抱えている問題等について話し合いました。

支援制度の充実に向けた活動では、5 月に文部科学省、厚生労働省およびこども家庭庁に令和 7 年度予算要望書を提出しました。文部科学省の「教科書デジタルを利用した音声教材等普及促進プロジェクト評価会議」の評価委員を務め、加盟している日本障害者協議会、日本発達障害ネットワーク、全国特別支援教育推進連盟の活動に参加し、特別支援教育や発達障害支援の充実に向けて活動を推進することができました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 3,582 】千円)

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
研究活動事業	日本 LD 学会第 33 回大会 ・親の会企画シンポジウム 「子どもと家族を真ん中にした 支援を考える～縦と横につなぐ 関係作りのために～」 ・親の会ポスター展示	2024 年 10 月 20 日 2024 年 10 月 19 ～20 日	神 戸 国 際 会 場 第 3 会 場 神 戸 国 際 展 示 場 2F 展 示 室 A	3 人 6 人	シンポジウ ム参加者 80 名程度 日本 LD 学会 大会参加者	224
	会員調査 ・教育から就業への移行実態調査 V	2025 年 1 月 27 日～3 月 31 日	東 京 都 渋 谷 区 当 法 人 事 務 所	9 人	LD 親の会会 員・LD 等の発 達障害児の 支援に関心 のある不特 定多数	
	会員調査報告書作成 ・保護者から見た GIGA スクール～ 1 人 1 台端末等の活用状況調査～	2024 年 4 月～20 24 年 7 月	東 京 都 渋 谷 区 当 法 人 事 務 所	6 人	LD 親の会会 員・LD 等の発 達障害児の 支援に関心 のある不特 定多数	
理解啓発事業	第 23 回全国 LD 親の会公開フォー ラムの開催 ・「成年期以降の課題 生涯にわ たっての支援をつなぐ」(会場・ リアル配信)	2024 年 6 月 16 日	北 海 道 立 道 民 活 动 セ ン タ ー か で る	13 人	LD 親の会会 員・LD 等の発 達障害児の 支援に関心 のある不特 定多数 (416 人)	2,207

	・オンデマンド配信	2024年6月29日～8月12日	2.7 東京都渋谷区当法人事務所	13人	LD 親の会会員・LD等の発達障害児の支援に関する心のある不特定多数(416人)	
特別支援教育支援員養成事業 特別支援教育支援員養成ビデオ講座 ・学習支援員コース：6 クール ・講座参加者交流会&相談会	2024年8月21日～11月11日	東京都渋谷区当法人事務所	13人	13人	学習支援員養成コース参加者(88名)	
	2024年12月7日	東京都渋谷区当法人事務所	13人	13人	学習支援員養成コース参加者(8名)	
ディスレクシア月間企画 各会から各教育委員会等に、地域の図書館・学校図書館における読書バリアフリー法による書籍充実の要望書提出依頼	2024年11月1日～31日	東京都渋谷区当法人事務所	13人	13人	LD 親の会会員・LD等の発達障害児の支援に関する心のある不特定多数	
NPO 法人全国 LD 親の会ホームページ運営	2024年4月～2025年3月	東京都渋谷区当法人事務所	13人	13人	LD 親の会会員・LD等の発達障害児の支援に関する心のある不特定多数	
NPO 法人全国 LD 親の会ブログ・SNS運営	2024年4月～2025年3月	東京都渋谷区当法人事務所	2人	2人	LD 親の会会員・LD等の発達障害児の支援に関する心のある不特定多数	
機関紙「かけはし」の発行 年2回(98号、99号)	2024年4月・10月	東京都渋谷区当法人事務所	13人	13人	LD 親の会会員・関係機関(1,800人)	
収益事業 ・発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック/親の会30年の経験から「生活の基礎作り編」販売 ・発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック/親の会30年の経験から「集団の生活編」販売 ・発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック/親の会30年の経験から「社会の中で生きるちから編」販売 ・保護者から見たGIGAスクール～1人1台端末等の活用状況調査	2024年4月～2025年3月 2024年4月～2025年3月 2024年4月～2025年3月 2024年4月～2025年3月	東京都渋谷区当法人事務所 東京都渋谷区当法人事務所 東京都渋谷区当法人事務所 東京都渋谷区	6人 6人 6人 6人	6人	LD 親の会会員・LD等の発達障害児の支援に関する心のある不特定多数	567

	～ 販売	25年3月	当法人事務所			
本人および家族等支援事業	親の会設立支援 ・京都府 ・島根県	2024年6月8日・7月11日 2024年8月3日	京都府内 島根県立大学	5人 2人	LD 親の会会員・LD等の発達障害児の支援に関する不特定多数	238
	総会後会員研修会 「災害への備え」	2024年6月15日	かでる 2.7 5 10 会議室	13人	LD 親の会会員 (62人)	
	会員行政勉強会（オンライン） ・報酬改定による放課後等デイサービスの変化について ・不登校について（リアル配信） (録画配信) ・発達障害児施策 ・「高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究」報告解説（リアル配信） (録画配信)	2024年7月28日 2024年9月17日 9月29日 2024年12月22日 2025年2月20日 3月23日	東京都渋谷区 当法人事務所	13人	LD 親の会会員 (48人) LD 親の会会員 (34人) LD 親の会会員 (53人) LD 親の会会員 (51人) LD 親の会会員 (23人) LD 親の会会員 (48人)	
	会員学習会「多様な学びを探しに行こう(GIGA 端末活用講座)」（オンライン） ・OneNote 活用体験 ・読みの支援の基礎編 ・書きの支援	2024年6月22日 2024年11月10日 2025年2月23日	東京都渋谷区 当法人事務所	3人 5人 7人	LD 親の会会員 (30人) LD 親の会会員 (13人) LD 親の会会員 (25人)	

	会員学習会「音声教材勉強会」(オンライン) ・保護者対象音声教材学習会 ・本人対象音声教材学習会 ・音声教材 BEAM と BEAM 音声を活用したテストの合理的配慮	2024 年 7 月 14 日 2024 年 8 月 18 日 2024 年 9 月 22 日	東京都渋谷区当法人事務所	3 人 3 人 4 人	LD 親の会会員 (28 人) LD 親の会会員 (22 人) LD 親の会会員 (19 人)	
	各会役員交流会 (オンライン)	2024 年 4 月 20 日 8 月 24 日 10 月 26 日 12 月 14 日 2025 年 2 月 22 日	東京都渋谷区当法人事務所	13 人	LD 親の会各会役員	
	幼児・小学生保護者交流会 (オンライン)	2023 年 4 月 21 日 7 月 6 日 11 月 7 日	東京都渋谷区当法人事務所	5 人	LD 親の会会員 (14 人)	
	全国青年交流会 (オンライン) ・「オンラインで北海道・小樽へ」 ・オンライン全国青年交流会 ・オンライン全国青年交流会	2024 年 9 月 14 日 2024 年 12 月 8 日 2025 年 3 月 16 日	東京都渋谷区当法人事務所	3 人 6 人 5 人	LD 親の会会員の青年 (2 人) LD 親の会会員の青年 (4 人) LD 親の会会員の青年 (4 人)	
	全国 LD 親の会ブロック活動	2024 年 4 月～2025 年 3 月	全国	13 人	LD 親の会会員 (1,800 人)	
支援・制度の充実にむけた活動事業	要望書の提出 2025 年度予算要望書 (文部科学省、厚生労働省、こども家庭庁)	2024 年 5 月 28 日	東京都渋谷区当法人事務所	13 人	LD 親の会会員 (1,800 人)	346
	教科書デジタルを利用した音声教材等普及促進プロジェクト評価会議	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日	文部科学省	1 人	LD 親の会会員 (1,800 人)	
	日本障害者協議会 ・第 13 回 JD 総会 ・政策会議	2024 年 5 月 31 日	戸山サンライズ	1 人	LD 親の会会員 (1,800 人)	

	日本発達障害ネットワーク ・第13回代議員総会(オンライン) ・第20回年次大会	2024年 6月30 日 2024年 12月21 日		2人 1人	LD親の会会員(1,800人) JDDnet 第20回年次大会参加者	
	全国特別支援教育推進連盟 ・2025年度予算要望提出 ・第46回全国特別支援教育振興協議会	2024年 7月9日 2024年 12月6 日	文部科学省 国際青少年総合センター国際交流国際会議室	13人 8人	LD親の会会員(1,800人) 全国特別支援教育推進連盟振興協議会参加者	
	国立国会図書館 ・障害者サービスに関する令和7～11年度計画策定に対する障害者団体意見交換会	2025年 1月16 日	東京都渋谷区当法人事務所	3人	LD親の会会員・LD等の発達障害児の支援に関心のある不特定多数	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)